



## 「津波に強いまちづくりの検討に係る手引き」の策定について

UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構）は、「津波防災まちづくりの支援方策に関する検討会（委員長：中井検裕 東京工業大学大学院理工学研究科教授）」における検討を踏まえ、このたび、津波防災まちづくりのための対策項目やその考え方等を取りまとめた「津波に強いまちづくりの検討に係る手引き」を策定しました。

### 記

#### 1 目的

UR 都市機構は、南海トラフを震源とする巨大地震による津波被害が懸念される地方公共団体への支援強化を図るため、今後、関係する地方公共団体が津波防災まちづくりのための対策の検討や計画の策定を行うに当たって、その参考として活用いただくことを目的として本手引きを策定しました。

#### 2 主な内容

本手引きは、津波に強いまちづくりに必要となる対策のうち、主にハード対策を中心として、以下の内容について取りまとめを行っております。

- 検討すべき対策、手順等の全体像
- 津波に強いまちづくりの検討の視点
- 対策の内容

#### 3 手引きの公表

本手引き（本編及び概要版）は、<http://www.ur-net.go.jp/produce/tsunami-bosai/> においてご覧いただくことができます。

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 都市再生部全国まちづくり支援室地方都市戦略チーム  
（電話）045-650-0877

本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当  
（電話）045-650-0887

## 「津波に強いまちづくりの検討に係る手引き」の概要

本手引きは、地方公共団体が津波防災まちづくりに関する計画を策定する際の参考としていただくことを目的として策定しており、津波防災まちづくりに必要となる対策のうち、主にハード対策を中心に、以下の構成により取りまとめを行っております。

### 全体像

#### ○検討すべき対策項目、手順等の全体像（別添参照）

### 視点

#### ○津波からひととまちを守る

最大クラスの津波に対しても、住民等のいのちを守るための対策が最優先

#### ○市街地の分類による津波対策

「浸水深」、「津波到達予想時間」の視点から市街地を分類し、対策を検討

#### ○時間的概念を踏まえた津波対策

短期、中期、長期の時間的概念を踏まえて、対策を検討

#### ○リスクコミュニケーションを通じた津波に強いまちづくり計画策定

行政だけでなく、住民、民間企業などの関係する主体が、被害の想定や対策内容とその効果、リスク等の情報を共有し、合意のもとで、まちづくりの目標や対策を検討

#### ○事前復興計画の策定

事前復興計画を検討・策定し、当該計画に基づき平常時のまちづくりを行うことにより、被災による被害を軽減し、被災後の円滑な復興を推進

#### ○津波に強いまちづくり計画の定期的な見直し

対策の進捗や市街地の状況等にに応じて、定期的にまちづくりの見直しを実施

### 対策の内容

#### ○巨大地震に備える

東日本大震災との違いを踏まえた地震動への対策

#### ○対策1 津波から身を守る場所に逃げる（1次避難）

避難場所、避難路等の確保

#### ○対策2 避難生活を送れる場所でのぐ（2次避難）

避難所、緊急輸送路等の確保

#### ○対策3 津波被害を回避すべき施設を守る

災害拠点的な役割を果たす施設、要援護者関連施設等の被害回避

#### ○対策4 甚大な被害が想定される居住地域等の安全性を確保する

居住地域等の安全な地域への移転・誘導

# 津波に強いまちづくりの検討の全体像

